

【 別紙 取組例 】

◆地方公共団体や事業所が実施する取組み

取 組 内 容
町内を移動するときには、なるべく徒歩や自転車を利用していく
公用車(営業車)を利用するときは、「エコドライブ10のすすめ」を実践する
蓄電池付き太陽光発電システムの増設や電気自動車の導入増に努める
ミスコピーや使用済み封筒の再利用、シュレッダーは最小限に使用していく
事務用品電化製品はメンテナンスを随時行い、長期間 使用していく
冷暖房設備機器は、使用時間の短縮や設定温度を低くすることに心掛ける
日常的な節電(昼休みや時間外時の消灯)を行っていく
紙回付・決裁から電子回付・決裁の移行に努める
会議資料や印刷物は極力減らしていき、無駄な印刷をしない
燃料使用量の抑制のため、を实践
3R「(リデュース：削減)(リユース：再利用)(リサイクル：再資源化)」の推進
長期優良住宅や認定低炭素住宅などを推進
豊かな森林資源を適切に管理し、継続的な森林吸収源の確保・拡大へ

◆町民(個人)が実施出来る取組み

(日常生活)

取 組 内 容
暖房(エアコン含)設定温度を1℃下げ、月に1回はフィルター掃除を行う
不要な照明を消す、または、明るさを落としていく(切れた電球はLEDへ交換していく)
冷蔵(冷凍)庫は、ものを詰め込みすぎず、無駄な開閉はしない
テレビは省エネモードに設定して、画面の輝度を下げていく
長時間 離席する場合、OA機器の電源を切るかスリープモードに、または使用しない電化製品のプラグを抜く
電化製品等の買換え時には、省エネタイプを選択していく
洗濯の回数をできるだけ減らし、自然乾燥に取り組んでいく
水道の節水(食器洗い、シャワー、トイレ)に心掛ける

(外出)

自動車を利用するときは「エコドライブ10のすすめ」を実践していく
公共交通機関の利用を心掛ける
エコバックの活用を拡げる
宅配荷物の再配達を避けていく

(その他)

住宅の新築・増改修時には、省エネ基準適合の建材や構造を導入していく
自動車の買換え時には、燃費の良い車やCO ₂ 排出の少ない車を選んでいく
3Rに取組み、特にごみ減量に心掛け、分別をしっかりと行う

家庭でのエネルギー消費量の50%以上は、家電による電気の使用となります。

しかし、冷暖房・冷蔵庫・給湯類・照明などは日常生活には欠かせないものです。

また、以前と比べライフスタイルが大きく変化し、利便性・快適性が影響しているのではないかと考えます。国内の人口は減少しつつも、世帯数は増加しており、社会構造も変化しています。さらに、家電の普及・大型化・多様化も伴い、年々家電によるエネルギー消費は進んでおります。

節電＝地球温暖化 というものではないかもしれませんが、町民一人ひとりがすぐにも、取り組める対策の一つであるのは間違いありません。

上記にあげた家電については、設定温度や使用時間・重複使用を変えるだけで、年間1,000円以上の節約ができ、また、CO₂削減も年間20kg以上の効果があります。このほかにも、取り組んで実施できることがあると考えています。

環境省のホームページや地方公共団体に問い合わせることで、二酸化炭素の排出を削減していくことができますので、これからも環境保全と国土の強靱化を図り、安全・安心で持続可能な社会構築を目指していきましょう。

中頓別町役場

総務課住民グループ 環境衛生担当
(政策経営課まちづくり担当)

☎ 01634-8-7660

✉ eisei@town.nakatombetsu.lg.jp

地球温暖化対策に向けて



みんなで取り組もう